

平成21年度教育委員会事務点検評価(平成20年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

		整理番号	14
事務事業の名称	スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援事業	担当部課	教育委員会生涯学習部体育課
		電話番号	04-2953-1111 内線5711
実施期間	昭和31年度 ~		
総合振興計画における位置づけ	5章 人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H20~22)事業名	スポーツ・レクリエーション団体活動促進事業
	1節 生涯学習の振興		
	2項 スポーツ・レクリエーション活動の促進	個別計画等の名称	
	2目 スポーツ・レクリエーション団体の活動の促進		
実施根拠	スポーツ振興法		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務+自治事務		
事業開始の背景等	市民のスポーツ・レクリエーション活動の裾野の拡大に向けて、種目別や分野別の各種のスポーツ・レクリエーション団体を求める組織として、体育協会をはじめとする3つのスポーツ・レクリエーション団体の活動を支援している。		

2 事務事業の目的・内容

目的	体育協会をはじめとする3つのスポーツ・レクリエーション団体に補助金を交付することにより、各種のスポーツ・レクリエーション団体の活動の活性化を図る。				
対象	市内に在住、在勤、在学する者				
活動内容	狭山市体育協会、狭山市レクリエーション協会、狭山市スポーツ少年団に対して活動費の一部を補助し、これに加盟する各種の団体の活動の活性化を図り、市民のスポーツ・レクリエーション活動の裾野の拡大を図る。				
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	<table border="1"> <tr> <td>(前年度方向性評価)</td> <td>平成20年度は、補助金交付団体に活動費の見直し等を依頼した。</td> </tr> <tr> <td>内容の見直し</td> <td></td> </tr> </table>	(前年度方向性評価)	平成20年度は、補助金交付団体に活動費の見直し等を依頼した。	内容の見直し	
(前年度方向性評価)	平成20年度は、補助金交付団体に活動費の見直し等を依頼した。				
内容の見直し					
環境配慮	各種の大会等に参加する場合には、車に相乗りするとともに、会場を清掃し、ゴミを持ち帰るよう徹底を図っている。				
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()				

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	目標値の根拠・考え方
(実施状況指標)	3つのスポーツ・レクリエーション団体に対する補助金額	目標値	円	6,680	5,680	5,680	5,680	体育協会・レクリエーション協会・スポーツ少年団に補助している金額の予算額
		実績値		6,680	5,680	5,680		
	達成率		100.0%	100.0%	100.0%			
	達成率							
(成果指標)	3つのスポーツ・レクリエーション団体に加盟している団体数	目標値	団体	70	70	70	70	過去5年間の体育協会・レクリエーション協会・スポーツ少年団に加盟している団体数の平均
		実績値		70	71	72		
	達成率		100.0%	101.4%	102.9%			
	達成率							

4 事業費

		区 分	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
経費	直接費	予算額	千円	6,680	5,680	5,680	5,680
		決算額	千円	6,680	5,680	5,680	
		財源内訳	千円				
			国庫支出金				
			その他特定財源				
			一般財源	千円	6,680	5,680	5,680
		人件費	人	0.60	0.60	0.60	
		従事職員数	千円	5,382	5,378	5,504	
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	12,062	11,058	11,184	
		事業費計(直接費決算額+人件費)	千円	12,062	11,058	11,184	
効率性指標	指標名	利用者数(加盟人数の概数)	人	18,000	18,000	18,000	1単位当たりの経費
	単位コスト	利用者一人当たりの経費	円	670	614	621	

5 事務事業の評価

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4	市民のスポーツ・レクリエーション活動の裾野の拡大を図るうえでは、体育協会をはじめとする3つのスポーツ・レクリエーション団体の活動を支援し、これを通して、各種のスポーツ・レクリエーション団体の活性化を図る必要がある。
		前年度 4	
	有効性	4	各種のスポーツ・レクリエーション団体では、大会や行事を積極的に実施し、市民スポーツの活性化と裾野の拡大に大きく寄与している。
効率性	手段の最適性 ・コスト効率の向上 ・受益者負担の適正化 ・執行体制の効率化など	3	市からの補助金については、団体の活動費に組み込み、適正に活用されているが、活動費に占める補助金の割合は高い傾向にある。今後は、自主財源の拡充や効率的運営により一層取り組む必要がある。
		前年度 3	
< 5段階評価 > 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い			
<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
今後の方向性	スポーツ・レクリエーションに関心を持つ市民がだれでも気軽に参加できるよう、市民への周知により一層取り組む。 また、各種の大会等を開催するにあたっては、受益者負担の適正化により自主財源の確保を図るとともに、スポーツボランティアを活用するなど、各種団体運営の効率化を図る。		

6 その他(学識経験者の意見等)

補助金交付に際しては、PDCAサイクルに即した形で、具体的に何をどうするかについて、計画立案を十分にしてもらわなければならない。

